

第三期審議会における推進計画に関する主なご意見

(全体的な観点)

- ① 基本方針に示した大きな方向性をより明確にするものとして作成するものとなるのではないか。
- ② 市が策定している他の個別計画等との関係性を考えると(他の計画の上位に位置付くものではないということから)、ある程度抽象的なものにしないと、他の計画等との整合性を取るのが難しいのではないか。
- ③ 計画の主人公を市民として作るという視点もあるのではないか。もしそうであれば、市の職員の意識に関する内容よりも、まずは市民の中から沸き起こるソーシャル・インクルージョンというようなことについての記載がはじめにあってもよい。
- ④ 基本条例・基本方針との整合性を持つ必要があるのではないか。基本条例・基本方針であまり言及していない内容について、推進計画で充実させた記載とするのは、少し唐突感があり違和感がある。
- ⑤ 市民意識調査で出てきた市民の意識に対し、どういった取り組むべき課題があるのかを明確にして、いくつか課題(ポイント)を絞って市としてのアプローチに言及するような方向性だと考える。
- ⑥ 今回の市民意識調査で非常に重要な課題が浮かび上がるであろうから、調査結果をしっかりと見ていかないといけない。そのうえで、「人権・平和のまちづくり」が何を目指すのかということをしっかり計画において示した方がよいのではないか。
- ⑦ インターネット上の被差別部落に関する差別事件に関しては、昨今、東京高裁による判決が出た。このような司法の状況についても、計画の中の理念を記載するような場所において示した方がよいのではないか。
- ⑧ どの部署で何をどれくらいの人員でどう対応するのか、こういった具体的なところを抑えていかないといけないのではないか。人権侵害が起こった時にどう対応するのか。学校での具体の取組は。年何回人権教室を行うのか。このような仕組みをまずは作って、3年間くらいで一度見直し、6年後どこまで進むのかしだいで次の計画につなげていくというようなことを行っていないと、抽象的なことでは計画として足りないのではないか。
- ⑨ 市民意識調査で課題を把握し、それに対する適切な対策、効果的な対策というものをぜひ国立市が代表して作っていただきたいという思いがある。全国的にも効果的な対策というのが明確にないために、様々な問題が増加し続けている。ぜひ他の自治体に先駆けて政策を打ち出していきたい。

- ⑩ インクルーシブな社会にしていく（人権を大切にする）ことは、その地域の発展や動きにつながり、経済も豊かにしていく。そういったことを計画に盛り込めないか。

（教育・啓発の観点）

- ① 「教育・啓発」に関して、無理に学校教育と社会教育に分けなくても良いのではないか。
- ② 特に今の子どもたちは人権の問題、差別の問題に触れる機会が非常に少なくなっている。学校教育の中でしっかりと人権について伝えていくことが重要であり、計画の中に位置付けていくことが必要ではないか。
- ③ （言葉が正しいかわからないが）目に見えにくい人権ということについては、抽象的になりやすいため、計画策定においても具体的にしていく必要があるのではないか。

（進捗管理の観点）

- ① 進捗管理の方法についてよく検討する必要があるのではないか。
- ② 進捗管理に審議会がどのように関わっていくのか、審議会の役割についての記載が必要ではないか。